３学年通信

令和７年６月号
五所川原高校
３学年主任　下山達彦

高校総体終了。卒業まで残りは「35分の9」

県高校総体お疲れ様でした。上位大会の権利を獲得できた皆さん、おめでとうございます!!部活動はもうしばらく続きますが、最後まで頑張ってください。そして、この高校総体で部活動を引退する皆さん、3年間本当にお疲れ様でした。入部届を提出したその日から一切手を抜かず、練習にも試合にも常に自分の中の100%で取り組んだ人もいるでしょう。それができたあなたは「力行天下第一」の具現者です。逆に試合結果が出た瞬間に「あの時もう少しやっておけば」と、100%で取り組めなかったことを悔やんだ人もいるでしょう。しかし、実はこちらの方が一般的だと思います。目標を達成したいと願いつつも、達成するために必要な努力を自分に都合の良い様々な理由で、少しだけ低く見積もっていませんでしたか。都合の良い理由で努力しなかった分の責任は予想外の敗北として取らされるものです。私も含め、部活動に取り組んだ人のほとんどが後者ではないかと思います。大切なのはこの敗北を自分事として正面から受け入れられるかどうかです。試合中に何かしら不運なことが起こった人もいるでしょう。しかし、それも含めて全て自分事として受け入れて欲しいと思っています。本気で悔しい思いをし、本気で反省できるから部活動には価値があります。「もう引退するのだから総体の反省は不要では?」と思わないでください。「進学校の生徒は部活動が終わってからの伸びが凄い」とよく言われますが、それは最後の試合で本気で後悔し、自分の努力は足りなかったのだと真摯に反省し、受験では絶対に同じ過ちをしないと決意するからです。仲間と共に励まし合い高め合った時間は素晴らしく、かけがえのない一生の宝物です。だからこそ、そこで経験したことを無駄にしないでください。この学校を巣立って行くその時に全員が「力行天下第一」の具現者であることを願っています。

家族に感謝しなさい。

家族に感謝しなさい。思っているだけでは伝わりません。目を見て声に出して真剣に感謝の言葉を伝えてください。

これまで3年、中学からなら6年、小学5年からなら8年もの長い期間、部活動を頑張ったあなたの努力は賞賛に値します。しかし、それだけでは自分勝手な子どものままです。その活動を支えてくれた人々への感謝を伝えることで本当の意味であなたの部活動が完成し、終了します。

○日々の仕事で疲れていれば、休日くらい時間を気にせず好きなだけ眠っていたいと思うのは当然です。しかし、そんな休日でも朝早く起きて朝食を準備し、学校や試合会場まで送迎してくれた家族に感謝しなさい。

○シューズ、ユニホーム、ジャージ、用具、遠征費等々、部活を続けるために必要な経費を当たり前のように払ってくれた家族に感謝しなさい。

○部活の結果に打ちひしがれ、不機嫌な態度をとったりしても最後まで寄り添ってくれた家族に感謝しなさい。

○試合会場まで足を運び声がかれるまで応援してくれた家族に感謝しなさい。

あなたが考えている以上に家族はあなたのことを様々な方向から支えてくれていたはずです。少しだけ謙虚に、少しだけ冷静に考えれば分かるはずです。家族に感謝しなさい。